

議会だより

No. 127

令和7年2月1日 発行
(2025)



表紙の作品

第5回観光協会観光フォトグランプリより

題名「収穫」

撮影者：厚目 正さん 撮影場所：滝ノ入桂木

2P～4P 議長年頭あいさつ
12月議会では、こんな事が
決まりました

5P～11P 一般質問 13人が登壇

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

バックナンバーはこちらです⇒



発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会
〒350 - 0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
☎049-295-2112

本年もよろしくお願いたします

年頭あいさつ



下田 泰章 議長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

町民皆様におかれましては日頃より、議会運営に対しご理解と温かいご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと政界では衆議院選挙で政権与党は単独過半数を取れず、アメリカでも自国中心主義を掲げるトランプ氏が大統領に返り咲き新たな局面を迎えた一年となりました。

本年の干支「巳」年は「産まれてくる」「未来がある」ことを意味する言い伝えがあります。

令和7年毛呂山町は合併70周年を迎え、行政計画では第六次総合振興計画がスタートし、新

たな毛呂山町として一歩を踏み出していく節目の年となります。今、私たちの暮らしは物価の高騰や子どもたちの減少、自然災害への懸念など、大きな転換点の中にあります。また、国会では所得環境改善の議論が進行し、地方自治体にとってこれまでに以上に財源の確保が厳しくなることが予想されます。

二元代表制の一翼を担う議会には、どんな状況においても町民皆様に少しでも豊かさや幸せを実感していただけるよう、皆様と対話を重ね住民の声を最大限に汲み取り執行機関と議論を重ね、未来ある一歩を踏み出す所存でございますので、本年も議会に対しご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして今年一年が夢と希望に満ちたすばらしい年になりますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



12月 議会定例会

令和6年12月議会定例会は、12月2日から12月11日までの10日間の会期で開催されました。今議会に提案されました案件は、専決処分の承認1件、条例の制定1件、条例の一部改正6件、補正予算5件、人事1件、諮問1件、請願1件、発議2件、合わせて18件が上程されました。また9月定例会で閉会中の継続審査となっていた請願1件があり、慎重なる審議をいたしました。なお、一般質問は、議員13名が登壇し、活発な質問が展開されました。

新規 条例

令和7年4月1日 毛呂山町こども家庭センターを保健センター内に設置



保健センター内に設置



親子の遊び場

こども家庭センターについて



こども家庭センターとは

関係機関や地域の団体とつながりながら、子育て家庭に寄り添ったサポートプランを作成し、子育て家庭をマネジメント。

主な活動内容

- ・母子保健と児童福祉の一体的な子育て支援総合窓口の設置
- ・サポートプランの策定
- ・ヤングケアラーへの支援強化

条例改正

町議・町長・職員等の給与報酬に関する一部改正条例 可決!!

国家公務員に対する人事院勧告及び埼玉県職員に対する埼玉県人事委員会の勧告、毛呂山町特別職報酬等審議会の答申を経て審議された。



毛呂山町特別職報酬等審議会とは
町内の商工会、シルバー人材センター、JAいるま野、ゆずの里ケーブルテレビから代表を選出、さらに町民3名を加えた合計7名によって構成される。

町議・町長・副町長教育長報酬改定
期末手当について、年間支給率0・1月引上げ。

職員の給与改定
全体平均2・68%の引上げ。
最大引上げ幅は大卒初任給を11・5%引上げ。金額にして、月額2万3200円。

人事院勧告の主な内容
民間給与の状況を反映して、約30年ぶりとなる高水準のベースアップ。若年層に特に重点を置きつつ、全ての職員を対象に全俸給表を引上げ。

条例改正

国民健康保険条例の一部改正 可決!!

全国的に見ても、マイナ保険証の利用率は約15%といった状態だ。これだけ大切な町民の『生命と健康』を守る現行の健康保険証を国は、12月2日より発行停止というが、町民の皆さんに分かりやすく、不安のない国民皆保険制度の維持、継続させるために本議案に反対する。

岡野 勉 議員

私は反対します

討論
〜私はこう考える〜

A 現行の被保険者証をお持ちの方はその通りである。
今後当分の間、マイナ保険証を持たない方へ、毎年「資格確認書」を発行する。

Q 12月2日に被保険者証が廃止されたが、現在の被保険者証は来年7月31日まで有効であるのか。

主な質疑
マイナ保険証の導入により、資格喪失時等に保険証の返却が不要となった。

主な改正内容

補正予算

令和6年度毛呂山町一般会計 補正予算（第5号）可決!!

A 国3分の2、県6分の1の補助、町の負担は6分の1。

Q こども家庭センター開設準備費の町負担分は。

利用者からは感謝、ありがたいといった声があった。

A 昨年度の継続分59件と新規申請5件を予定していたが、さらに5件の申請があり、計69件。

Q 毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金の利用実績と利用者の声は。

総務省が出している消費者物価指数の食料品によると、前回値上げ時の令和4年9月と令和6年9月を比較すると、13・4ポイント上昇している。白米については、令和6年4月と11月の価格を比較すると17・04%上昇した。補正額は15%程度の値上げを想定し積算。

A 追加計上されているがこの積算根拠は。

Q 学校給食費の賄材料費が362万円追加計上されているがこの積算根拠は。

主な質疑

主な内容 (※万円未満切り捨て)
・学校給食 賄材料費 362万円
・川角駅南側駅前広場等標準地価格調査業務委託料 264万円
・こども家庭センター開設準備費 268万円
・毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金 44万円

懲罰動議 全員賛成で「戒告」を可決

提出者 荒木かおる 議員
高橋 達夫 議員

長瀬衛議員は、農業委員の任命過程調査特別委員会の際、秘密会の内容を漏えいした。そのことに対し懲罰動議が提出され、採決の結果、戒告処分となった。

※秘密会とは？

議会の会議は公開されることが原則ではありますが、例外として、傍聴者および関係者以外の者の退席を求めて行う会議があり、それを秘密会といいます。秘密会で知り得た内容は、その秘密性が継続する限り、他に漏らしてはいけません。議員及び職員は秘密事項について厳守する義務があります。

百条委員会委員長不信任を求める動議が提出され否決

提出者 高橋 達夫 議員
賛成者 荒木かおる 議員、千葉三津子 議員、佐島 啓晋 議員

秘密会の議事を漏えいしたとして、長瀬衛議員に戒告処分が科せられた。それを受け、農業委員の任命過程調査特別委員会委員長の不信任を求める動議が提出されたが、採決の結果否決された。

私は賛成します
荒木かおる 議員
百条委員会において秘密会の漏えいを行った長瀬衛議員に対し懲罰が科せられました。懲罰を受けた長瀬衛議員は、調査特別委員会の委員長であり、このまま職務を続行することは百条委員会の秩序と信頼を損なうものであります。よって長瀬衛議員の農業委員の任命過程調査特別委員会委員長の不信任案に賛成します。

私は賛成します

荒木かおる 議員

私は反対します
岡野 勉 議員
本動議は、調査特別委員会に関する内容であり、本会議で討議すべき内容でないので、本動議に反対する。

私は反対します

岡野 勉 議員

討論
〜私はこう考える〜

町議会の定例会の様子をケーブルテレビで放送しています

町議会では、定例会の本会議での一般質問の様子を「ゆずの里ケーブルテレビ」及び「毛呂山中央テレビ」にて録画放送しています。各議員一般質問登壇日より約1～2週間後が放送予定日です。

また、令和6年12月議会定例会より、議案審議等の様子も録画放送を開始しました。

詳しい放送予定日は町ホームページをご覧ください。議会事務局(Tel049-295-2112内線411)までお問い合わせください。

本会議は直接傍聴することもできます。議会の様子を知るよい機会ですので、お気軽に傍聴にお越しください。なお、傍聴席ではスマートフォン等の電源を切り、私語等は慎んでください。

※この録画映像は、毛呂山町議会の公式記録ではありません。また、議案審議等の放送は「ゆずの里ケーブルテレビ」のみとなります。

一般質問

町政を問う!

~13名が登壇~

- 地域防災
- 教育・子育て環境の充実
- 医療ケア
- 高齢者福祉の充実

小峰 明雄

- スマートシティ事業
- 町の財政課題と予算編成方針
- 町の教育における諸課題

堀江 快治

- 自治会の女性参画推進
- 学習指導要領の変遷と習熟度別学習

佐島 啓晋

- 学校統廃合
- マイナ保険証

小野 浩

- 幹線道路の整備方針

長瀬 衛

- 防災対策の整備・充実

荒木かおる

- 不登校対策といじめ問題
- こどもまん中社会の取組み

千葉三津子

- 防災対策
- 今後の行政運営

佐藤 秀樹

- 少子化対策

中村 奨平

- 令和7年度予算編成に向けて
- 町道
- 毛呂山町の観光

平野 隆

- 学校給食の無償化
- 毛呂山町の学校統廃合

岡野 勉

- 令和7年度予算編成
- 少数与党内閣における町政への影響は

高橋 達夫

- 認知症対策

澤田 巖

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

消防第1・5分団の車庫建て替えは

答 対策を講じる必要がある



小峰 明雄

問 消防団第5分団車庫の建て替えは、西大久保地内の交差点付近に機能移転も含めた検討は。 **答** 提案していただいた場所を含め検討していく。

問 連続1・17回目の一般質問。令和7年度当初予算編成、幼児教育・義務教育の重要施策は。 **答** 全児童生徒にA・I・Dリルの導入・海外留学事業・英語検定受験料の全額補助を予定。

問 学校給食無償化、私立小中学校・特別支援学校等に在学する児童生徒の学校給食費相当額の補助は。 **答** 検討を進めていく。

問 アレルギー等の理由で、お弁当を持参する児童生徒に学校給食費相当額の一部補助は。 **答** 情報収集し研究を行いたい。

問 令和7年度当初予算編成、少子化対策・子育て支援施策は。 **答** こども家庭センターを開設。終末期医療の今後の支援は。 **答** 助成制度がない世代に、介護サービス利用料金の負担軽減を目的とした助成制度を検討。

問 がん患者アピランスケア用品の購入費補助は。 **答** 埼玉医科大学国際医療センターと情報共有しながら導入に向け準備を進める。

問 健康づくりのまち宣言・フレイル予防・認知症予防には、埼玉医科大学グループ、特にハピネス館との連携事業は重要では。 **答** 各種予防事業を引き続き連携強化に努める。

問 民生委員活動との連携強化。ご見解は。 **答** 今後も活動をサポートし、充実を図っていく。

問 消防団第1分団車庫の敷地は町有地。建て替えを行う場合には、優先順位は高いと思うが。 **答** 最善の方策を消防団や関係機関と検討していく。

問 令和7年度当初予算編成、幼児教育・義務教育の重要施策は。 **答** 全児童生徒にA・I・Dリルの導入・海外留学事業・英語検定受験料の全額補助を予定。

問 学校給食無償化、私立小中学校・特別支援学校等に在学する児童生徒の学校給食費相当額の補助は。 **答** 検討を進めていく。

問 アレルギー等の理由で、お弁当を持参する児童生徒に学校給食費相当額の一部補助は。 **答** 情報収集し研究を行いたい。

問 令和7年度当初予算編成、少子化対策・子育て支援施策は。 **答** こども家庭センターを開設。終末期医療の今後の支援は。 **答** 助成制度がない世代に、介護サービス利用料金の負担軽減を目的とした助成制度を検討。

問 がん患者アピランスケア用品の購入費補助は。 **答** 埼玉医科大学国際医療センターと情報共有しながら導入に向け準備を進める。

問 健康づくりのまち宣言・フレイル予防・認知症予防には、埼玉医科大学グループ、特にハピネス館との連携事業は重要では。 **答** 各種予防事業を引き続き連携強化に努める。

問 民生委員活動との連携強化。ご見解は。 **答** 今後も活動をサポートし、充実を図っていく。



新耐震基準を満たさない2施設の建て替えを切望する

スマートシティ事業の成果は！

答 成果を目指して実装に向けて努力していく



堀江 快治

るさと納税の総額が過去最大となったが、本町では減少という結果だった。今年度の状況は。

問 昨年度の実績を超えることは厳しい状況。

問 多額の公費を支出しているスマートシティ事業の現状と費用対効果についての認識は。

問 PPA方式で給食センターに設置した太陽光発電の契約単価34・2円は高かったのか、安かったのか。

問 長期的に考えている。昨年度、全国ベースではふ

問 当時としては妥当だと考えている。

問 経済産業省は次世代の再生可能エネルギーとして「ペロブスカイト太陽電池」の導入目標を策定する。町は来年度も公共施設に太陽光パネルを設置していくのか。

問 検討組織を設けた上で検討していく。

問 国の動向を踏まえた上で、令和7年度予算編成において重視する点は。

問 町の課題解決のために次期総合振興計画を基本として、特に少子化対策、教育施策、健康づくりにといった分野を重点に予算編成に取り組む。

問 基礎控除額が103万円から178万円に引き上げられた場合、地方財政に大きな影響が出ると考える。本町への影響額は。

問 約5億4千万円の減収と試算している。

問 町教育における諸課題

問 基礎学力向上は本町の教育行政の最重要課題である。今こそ新しい教育改革に取り組みないと現状を打破できないと考えるが。

問 教育の中身の充実を検討していく。

問 学習指導要領の変遷と次回の改訂時期はいつか。

問 学習指導要領は、10年に1度改訂されている。昭和43年には小学校の年間授業総時間数が、5821時間と最も多く、平成10年までに768時間削減された。平成20年から再び増加に転じ、現在29年改訂からは418時間増加して、5785時間となっている。次回の改訂は令和9年ではないかと推測される。

問 小学校の授業時間が大幅に増えた原因はなにか。

問 確実な知識の習得や知識・技能を活用する学習を行う時間

問 児童生徒の学習の理解度に応じて、1つの学級を2つに分けたり、2つの学級を3つのグループに分けたりして、児童生徒一人一人に対してきめ細かい指導を行い、指導の効果を高めることをねらいとして、算数・数学を中心に少人数指導を行い、丁寧な支援ができるようにしている。

問 児童生徒の学習の理解度に

自治会活動に女性の視点を！（小田谷自治会館）

極めて高額な契約単価の給食センター太陽光パネル事業

自治会の女性参画は進んでいるか！

答 既に自治会長の25%が女性である



佐島 啓晋

問 自治会の役員のみならず手不足は深刻化している。その原因として、役員の女性参画が阻害されているからではないか。

問 本町において自治会の女性

区長は17区あり、全体の25%となっている。内閣府の令和5年度の調査での全国平均は7・2%であり大きく上回る。自治会活動において、女性の視点を取り入れることは、地域の防災活動や環境美化活動、子育て環境や高齢者の見守りなど、様々な活動の発展につながる担い手の確保という側面からも重要な取り組みと認識している。

問 確実な知識の習得や知識・技能を活用する学習を行う時間

問 児童生徒の学習の理解度に



前の説明会に校地拡張はないが

答 これから説明会を行う



小野 浩

西側拡張の話は出ていない。現計画との整合性がないのでは。今後のスケジュールはどうなるのか。

校地拡張に向けた動きの中でスケジューリングを考える。

小学校用グラウンドの広さはどうか。

150mトラックはとれる。再度説明会を行うか。

説明会を行う。

多目的室で理科、音楽、図工の授業は難しいがどうなるのか。

3年から6年の理科は中学理科室を使える。

体格に合う理科室があるのか。

特別教室の使い方を研究していく。

川角小の歴史は。

150年の歴史がある。

歴史ある学校をなくしていくのか。

一番は子どもファーストである。安全な環境をつくらなければいけない。

一体型を何故そんなに急ぐのか。

答申を踏まえてこの計画になった。

マイナ保険証について

当分の間、紙の保険証が使えることなど、窓口でも町民に対して、今後も丁寧に説明してほしい。町の見解を伺う。

マイナ保険証を持っていない人には令和7年7月の更新時に「資格確認書」を郵送する予定。町民への周知は広報もろやま令和7年1月号にて行う。

川越坂戸毛呂山線、次期計画での位置づけは

答 本町の発展を牽引する広域軸路線である



長瀬 衛

ない理由は、新川越越生線と2本要望するのは難しいからである。また、大類地区や長瀬地区で、「やらないでほしい」、「地域が分断される」との意見もある。

多くの住宅団地自治会が高齢化率50%に近づいており、10年後、町の風景は想像し難いが、未来に向けた町づくりへの責任を我々は負っている。都市計画

5年前に町長が川越坂戸毛呂山線について「要望活動を終わりにしたい」と宣言したが、考えに変わりはないか。

川越坂戸毛呂山線を要望し

道路整備が重点課題であり、南北路線の飯能寄居線は、一定の役割を果たしているが東西路線の早期整備に向けて、川越坂戸毛呂山線を優先すべきである。

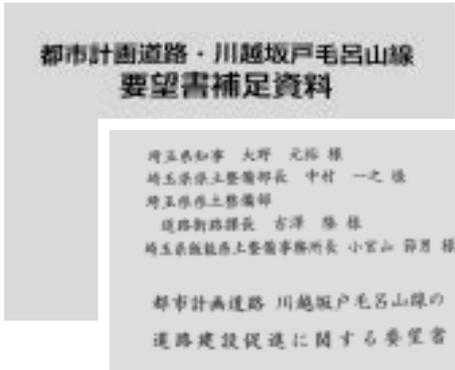
今年度が最終年度の第5次総合振興計画では、毛呂山町の発展を牽引する路線として、川越坂戸毛呂山線を位置付けてきたが、7年度から始まる第6次総合振興計画では、この路線をどのように位置付けているのか。

来年度スタートする第6次総合振興計画では、川越坂戸毛呂山線は本町の発展を牽引する広域軸として位置付けている。

本町の整備率は低い。埼玉県内の都市計画道路整備率並びに本町の県施行分の都市計画道路整備率について聞く。

都市計画決定から20年以上経過している県内路線の内、65%が整備済である。本町の県施行分の都市計画道路整備率は、28・4%である。

坂戸西スマートICへのアクセスとなる川越坂戸毛呂山線については、引き続き交通需要データの情報収集を行っていく。



県への川・坂・毛呂線要望書 [令和元年10月]



広いグラウンド、これが子どもファースト！

災害時を想定し職員参集訓練を

答 訓練の実施に向け鋭意検討して参る



荒木かおる

問 町で災害が発生した時の職員の参集体制について伺う。

答 勤務時間外に大規模な災害が発生した場合には、自分と家族の安全等を確認したのち、徒

歩・自転車・バイクなど、安全かつ最も速い移動手段により参集することとしている。

問 過去に町では災害時を想定した職員参集訓練を実施していたが現在では実施していない。定期的に必要なと考えるが今後の職員参集訓練の方針は。

答 現在は、毛呂山町防災訓練の実施に合わせて職員に参集メールを送信し、防災訓練参加職

員はメールを受信したのち防災訓練会場に参集する参集伝達訓練として実施している。

問 災害状況により自家用車が使用できないことも想定しておこなう必要がある。災害時の初動体制の確保の観点からも、職員の参集訓練が大切ではないか。

答 30分後にはどの程度なのか、の役職の職員が参集できるのか、1時間後であればどの程度なのかといった現在の実態を把握することが必要と考える。緊急時を想定した職員参集訓練の実施について鋭意検討して参る。

戸地区衛生組合にし尿等が搬入不可能な場合、どのような対応を想定しているか。

答 近隣など、他のし尿処理施設へ受入れ要請を行い、町内のし尿処理をすることとなる。不可能な場合は毛呂山越生鳩山公共下水道組合と調整を図り処理を検討。

問 近隣自治体とは災害時のし尿処理について、連携や調整を行っているのか。

答 県や県内各市町村、各一部事務組合の85団体と災害廃棄物等処理に関する相互支援協定を締結している。

不登校・いじめ問題の早期解決を!

答 早期発見・早期対応に努める



千葉三津子

問 不登校の理由の一つとしていじめ問題が隠れていると思う。いじめ問題の解決には、こどものサインを見逃さず、早期発見、対応が大切だと言われているが

本町の教育委員会の考えを伺う。

答 早期のいじめ確認で対応がとれるよう教職員の研修を行い、管理職も含めていじめ対応がとれるよう指導していきたい。

問 学校はアンケート調査や個人面談等を行っているようだが、児童生徒が相談しやすい新たな取り組み等は検討しているのか。

答 埼玉県教育委員会より児童生徒にSOSの出し方を指導す

るための教材や研修資料が作成され、各学校に周知している。

問 全国自治体では、配布されているタブレット端末から相談が可能で、チャットやLINEでも相談ができ、早期相談につながる先進事例もあるが如何か。

答 本町でも県の相談窓口のチラシや案内カード等を配布している。電話、手紙、QRコード、SNSの対応が可能である。

問 「何かあればしつかりと守るよ」とのメッセージを児童生徒に伝えることが必要では。

答 メッセージがより伝わるよう掲載内容を今後検討していく。

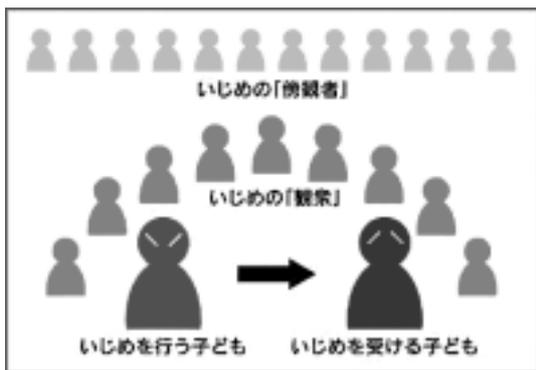
こどもまん中社会の取組み

問 令和7年度にこども家庭センターを開所する予定だが町の子育て支援はどのような変化があるか伺う。

答 児童福祉部門と母子保健部門が一体となり包括的な支援が可能になる。

問 産前産後の家事支援サービスや学童保育所の夏休み利用など育児中の負担軽減策について伺う。

答 寄せられる情報や相談を通して必要な支援を提供できるよう支援体制の充実・強化を図ってまいりたい。



いじめのない教育行政を目指して（法務省HPより）



職員の初動体制の把握が必要

備蓄している水の保存期限と単価は

答 保存期限5年、単価は170円



佐藤 秀樹

問 現在、備蓄品として何をどのくらいどこに備蓄しているか。

答 アルファ米等、約1万2000食、ビスケット等、約2600食、飲料水、約9600本が

問 十分に検討すべきでは。

答 調査研究をし、費用対効果の高い備蓄品の購入に努める。今後の行政運営

食料・飲料水の備蓄状況で、備蓄倉庫に分散して保管している。

問 危機管理産業展2024で保存期限がなんと12年と非常に長い500ミリ缶の水が展示してあった。価格次第では今の費用を大幅に抑える事ができる。

問 これまで明治、昭和、平成と時代の変化と共に合併が行われてきており、今後の人口推移を見ればいつ合併が検討されるかわからない状況の中、どのように毛呂山町を考えているのか。

答 急速な人口減少は全国的なものであり、今後議論として出てくる可能性はあるものと考えている。

問 私はいち早く川越と合併した方が良いと思う。川越と合併する事により、川越から毛呂山町までいわゆるレインボー協議会のエリアで医療と福祉のゾーンをつくる事ができ、新たな産

業が生まれる。その為にも川越にも病院を構えている埼玉医大等と将来ビジョンに向け様々な議論ができる環境を作るべきと思うがいかがか。

答 埼玉医科大学グループが立地していることは、本町にとって大きな強みであり、医療と福祉のまちを目指す上で中核となるグループである。この町の強みを最大限生かすことができるよう、今後更なる連携強化に向け、しっかりと調整を図って参る所存である。

少子化・人口減少対策強化の考えは

答 町の魅力の底上げが大切



中村 奨平

問 今年9月にOECDは2024年版「図表でみる教育」を発表し、教育・スキル局長は会見にて次のように発言したと報道されている。「日本の公的支

出における教育が占める割合は低く、下から3番目です。では日本が何にお金を使っているかというと、社会保障や健康、一般公共サービスです。日本は将来世代ではなく過去世代、高齢者に対してより多く投資しています。あまりにも過度に高齢者を守ることにお金を使うのではなく、将来世代に対して投資をしていかなければなりません

次世代に繋げるために、保育料第2子無償化、子育て支援、移住促進施策拡充の考えは。

答 なんらかの事をやらなければならぬ。

問 名目賃金が上がっても、物価上昇により実質賃金は減少しているのにも関わらず、税金や社会保険料は増額される。さらに、家を持つにも建設費が高騰し、賃金上昇が全く追いついていない。これから資産を築こうとする若者がいま一番厳しい状況にある。支援が必要では。

答 住宅供給ができるよう、しっかりと進めていく。

問 小学校跡地について、統合したにも関わらず売却せず町有施設のままであれば、維持管理に係る費用が膨れ上がる一方だ。明確な利活用案がないのであれば、まず売却を検討し跡地に企業誘致等を行うことにより、税収増、働く場所の選択肢増、関係人口増と、まさにいま求められている事では。

答 災害時の避難場所であり、無くす事は危機管理上あり得ない。町民皆様が納得いく活用も考えながら、慎重に進めていく。



僅か16年後の未来。将来世代への支援を！



さまざまなソリューションが展示されていた危機管理産業展

町の町政運営は大丈夫か

答 健全なる運営を目指す



平野 隆

問 現在の歳入歳出予算の乖離状況を伺う。

答 現段階で約10億円という膨大な乖離が発生している。理由としては物価高騰や人件費の上

問 今後の歳入歳出予算の乖離状況を伺う。

答 今後本格化する予算査定の中で精査を行っていくが、非常に厳しい状態であると認識している。

問 令和7年における、重点施策は何か伺う。

答 切れ目のない子育て支援、また川角駅周辺地区整備事業や総合公園体育館と中央公民館講堂への空調設備導入事業、公共施設のLED化も実施予定。

町道

問 現在、町道の整備状況は。

答 町道総延長約414kmのうち、27%にあたる113kmが整備済みとなっている。

問 この整備率は近隣自治体と比べて、高いのか低いのか。

答 坂戸市は56%、鳩山町は45%、日高市は31%、飯能市は28%、越生町は18%だが、この改良率は道路構造令に合致した道路の率を示すもので、毛呂山町と比べ、どう評価するかは難しいと考える。

問 長瀬地区の鶴舞橋の架け替えの見通しは。

答 県の事業である大谷木川の河川改修と併せて鶴舞橋の工事を行うことにより事業費の圧縮が期待できる。地元関係者への協力をお願いしているところ。

毛呂山町の観光

問 町の観光施策は。

答 既存の観光資源を活用し、PR活動をしていく。

問 新たな観光資源を作るべきと思うが、町の考えは。

答 既存の観光資源を繋げ、近隣自治体とのネットワークを広げ新たな観光を作る。

学校給食無償化は、毛呂山の子ども全員だ！

答 当然、しっかりと軽減に向けて検討する



岡野 勉

問 今年の4月から学校給食の無償化が実現した。しかし私立の小中学校、県立毛呂山特別支援学校に通う児童生徒については対象外（合計46名）。確認し

問 今年度のより、子育て世代の負担を軽減するために、給食費の無償化が行なわれると聞き、

答 まだ、検討の域を脱していない。私に、県立特別支援学校保護者からの手紙が届いた。「今年度より、子育て世代の負担を軽減するために、給食費の無償化が行なわれると聞き、

喜んでおりましたが、私の息子は今年から県立の特別支援学校に通っているため、対象外になってしまいました。

学校の選択は、長い時間をかけて、いろいろ迷って選択しましたが、それによって一方は給食費の負担が軽減され、一方は軽減されない、ということをとっても残念に思っています。

学校給食費は、家計にとっても大きな支出の割合を占めています。町民として、全ての子ども達が平等に支援をうけられる環境の整備を求めています。しっかりと町は、保護者の気

持ちを受け止めるべきだ。町長は「日本一やさしいまち」を目指している。この手紙にどう答えるか。

答 当然、町民であり学校の児童生徒。しっかりと軽減できる方向で検討する。

毛呂山町の学校統廃合

問 学校設置条例を審議する臨時議会が、令和7年1月に開催される。前もって住民説明会を開催すべきだ。

答 7年1月中旬に開催する。



当然、しっかりと軽減する方向で検討する



身の丈に合った財政運営を求める

来年度予定している主な事業は

答 総合公園体育館空調設備事業等である



高橋 達夫

固定資産税1億1千万円増等を見込んでいます。

問 来年度予定している主な事業は。

答 令和7年度の予算規模は、過去最高の118億円規模を見込んでいます。

問 主な歳入増の見込みは。

答 大型事業として川角駅周辺地区整備事業の用地買収、鎌倉街道公有化事業、総合公園体育館空調設備整備事業、中央公民館講堂空調設備整備事業、総合公園グラウンド照明を含めた6施設のLED化、町道整備事業、

少子化対策として子育て世帯への経済的支援、子育て環境充実等である。

問 今話題の103万円の壁の見直しによる町への影響は。

答 住民税5億4千万円の減収になる試算である。

問 住民税の減収分の75%は地方交付税で補填されるからその25%が減収となるといふことか。

答 考え方として町税の減収分の75%が普通交付税として補填されることになる。

問 いずれにしてもその減収分に対する国からの新たな補填が町に来なければ町の財政は大変

なことになる。まさに今年の流行語大賞「ふてほど」不適切にも程がある政策だ。

国は経済対策として住民税非課税世帯に3万円の給付を言っているが町ではいつ支給されるのか。

答 国の補正予算の審議状況や県のスケジュールを確

認しながら、町の補正予算の準備ができ次第、臨時議会で補正予算を計上する。

問 町における対象世帯の数と割合は。

答 非課税世帯数は4549世帯で27・8%に当たる。

認知症サポーター活躍の場を！

答 町から積極的に提案していく



澤田 巖

問 日本国内の認知症患者は年々増加傾向であり、厚生労働省の推計では2020年には約964万人であった認知症総数は2070年には約3倍が予想さ

れている。埼玉県でも令和7年には約40万人に達する見込みであり、高齢者の5人に1人が認知症になる。認知症に対して誤解や偏見を少しでもなくし気軽に相談できる認知症サポーターは必要不可欠な存在となる。現在までの受講者はどのくらいの人数か。

答 今年度は毛呂山町商工会、川角小学校5年生を対象とした

講座、図書館を会場として地域住民を対象とした講座の計3回を実施した。これまでの累計では4993人である。

問 全国での取組をみるとサポーターがいる店舗の登録制度や小中学生と認知症の人との交流など様々なものがある。認知症サポーターとしての活躍の場を町から積極的に提案していくこと

で、認知症の人や家族介護者の苦悩に対する理解や支援の手が差し伸べられる機会も増えていき、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるかと考えるが。

答 現状として認知症サポーターの活躍の場が少ないのは事実である。認知症サポーター養成講座を通じて習得した知識を地域や暮らしの中で実践している方もいる。積極的に認知症の人を支援し交流する機会を持つことは、認知症の方に対する理解を更に深めていき非常に有効であると認識している。そのため毛呂山町としても全国の様々な取組を参考にしながら認知症サポーターの活躍の場を積極的に提案していく。



誰もがなりうる認知症、万全の体制を



空調設備が整備される総合公園体育館

表彰

◎毛呂山町議会表彰

岡野 勉 議員

(在職25年)



人事

◎固定資産評価審査委員会委員

大澤 邦夫 氏

毛呂山町前久保南
昭和40年4月生

◎人権擁護委員

大澤 麻実子 氏

毛呂山町前久保南
昭和38年11月生

傍聴席

12月定例会傍聴者数	
本会議日	傍聴者数
12月 2日(月)	0名
12月 3日(火)	12名
12月 4日(水)	26名
12月 5日(木)	6名
12月 6日(金)	3名
12月11日(水)	0名
合計	47名

※定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)開かれます。

●議案の審議結果(12月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案	議員名													審議結果		
	中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治		下田 泰章	
専決処分 一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認	
新規条例 子ども家庭センター設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
一部改正	監査委員条例、水道事業の設置等に関する条例、農業集落排水事業の設置等に関する条例、職員の給与に関する条例、子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例、町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決	
	国民健康保険条例	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	議	原案可決	
補正予算 一般会計(第5号)、国民健康保険特別会計(第3号)、水道事業会計(第1号)、農業集落排水事業会計(第1号)、介護保険特別会計(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
人事 固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意	
諮問 人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任	
請願	[川角小・光山小・泉野小の廃校計画の撤回]を求める請願													閉会中の継続審査		
	再審法改正を求める意見書採択に関する請願													総務文教常任委員会へ付託 閉会中の継続審査		
発議	長瀬衛議員に対する懲罰について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	議	原案可決
	長瀬衛議員の農業委員の任命過程調査特別委員会委員長不信任を求める動議	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	議	否決	

お詫びと訂正
令和6年11月1日発行の「議会だより」126号、4ページ上段、賦課徴収費の記事に2箇所誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

誤 決算額4979万円・最新の
正 決算額4806万円・令和5年の

あとかぎ

桂木ゆずが今脚光を浴びている。昨年川越市の企業が桂木ゆずを肥料に用い「桂木ゆず米」が発売され話題になり、大手食品会社の(株)明治からは「フルーティカカオ柚子」として毛呂山町特産の桂木ゆずを使用した商品が全国発売され好評を得ているという記事が新聞紙面などを賑わせた。

現在のゆず農家は48件、生産量は126トン、昨年は不作の裏年、ゆず祭りも1日みの開催、ゆずの里ウオークも中止された。ゆず農家の後継者問題など今後の未来像は観光協会などが常に農家などと協議し最善を尽くすとの担当課からの答弁があった。

商品化に成功したその裏側には毛呂山町観光協会など数多くの団体の尽力があった事は間違いない。
今年には表年にあたり豊作が予想され、高品質で有名、日本最古の桂木ゆずを大いに堪能しましょう!

澤田 巖

編集委員

委員長 澤田 巖
副委員長 荒木 かおる
委員 中村 奨平
佐島 啓晋
小野 浩
佐藤 秀樹

アドバイザー

(議長) 下田 泰章